

2010年10月5日

住友林業の社有林で取得したJ-VERクレジットなどでカーボン・オフセット
COP10併催展示会「生物多様性交流フェア」出展
～ 「生物多様性条約第10回締約国会議」を応援し、様々な取り組みを展開 ～

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、本年10月11日から29日に、愛知県名古屋市で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議」（以下、COP10）を応援し、併催される屋外展示会「生物多様性交流フェア」に民間企業では最大規模で出展します。その他、「生物多様性」フォーラムの開催や住宅展示場の公開など、当社の生物多様性保全への様々な取り組みを紹介し、また、本フェア開催にあたり使用する電力から発生するCO₂をオフセットするため、当社社有林で取得したJ-VERクレジットを寄付しております。

■ 出展概要

COP10では、190カ国を超える条約批准国などが集まり、条約に関する討議、決定を行う本体会議の他、会議場に隣接した会場を使用した国際的な発表・交流展示会「生物多様性交流フェア」など、様々な周辺イベントが開催されます。当社は、この「生物多様性交流フェア」に出展します。

名称 生物多様性交流フェア

開催日程 10月11日(祝)～29日(金) (19日間：本フェア開催期間の全期間出展します)

平日/祝日 19:30～18:30 (最終日15:00まで)

土曜/日曜 10:00～16:00

会場 愛知県名古屋市白鳥地区 COP10会場(名古屋国際会議場)隣接

展示概要 木を軸として事業を展開し、生物多様性への責任や影響が大きい住友林業グループの生物多様性への取り組みを、創業1691年の住友林業の歴史とともに伝えます。なお、民間企業では最大の展示スペースとなります。

■ J-VERクレジットの提供

本フェアは、環境にやさしいイベントをめざしています。その一環として、生物多様性と地球温暖化の問題とは密接不可分な関係にあることから、フェア開催中に使用する電力から発生するCO₂を、COP10支援実行委員会がオフセットします。当社では、この取り組みに協力することを目的に九州の社有林で取得したJ-VERクレジットを寄付しております。

※今回当社が寄付したJ-VERクレジットは、環境省が推進するオフセット・クレジット（J-VER）制度の「持続可能な森林経営促進型プロジェクト」に登録された、当社の九州社有林山瀬地区（宮崎県）を対象とした「住友林業株式会社社有林管理プロジェクトI」によるものです。

※J-VERとは、環境省が地球温暖化対策の一つとして推進する、国内の温室効果ガスの排出削減・吸収量を、自主的なカーボン・オフセット用のクレジットとして認証するオフセット・クレジット（J-VER: Japan Verified Emission Reduction）制度で、平成20年11月に創設されました。創設当初はCO₂排出削減プロジェクトのみが対象でしたが、平成21年3月に、林野庁と連携して森林のCO₂吸収量を増加させる森林管理プロジェクトが追加されました。

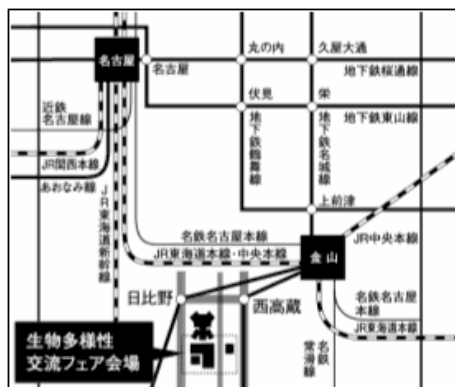
■ 会場アクセス

愛知県名古屋市白鳥地区

COP10会場（名古屋国際会議場）隣接

地下鉄名城線「西高蔵」駅2番出口より 徒歩5分

地下鉄名港線「日比野」駅1番出口より 徒歩5分



※詳しいお知らせはこちら(PDF:2MB)

■当社がCOP10に積極的に対応する意義

当社グループは、山林から木材・建材の製造・流通、住宅建設・リフォーム・流通、緑化などに至るまで、木にかかわる事業をグローバルに展開しています。木は、生物の営みの中から生み出される生物多様性の恵みそのものであり、当社にとって、生物多様性を保全することは、事業の基盤を守ることにつながります。また、当社は、日本の国土の約900分の1（約42,600ヘクタール：平成22年4月1日現在）の社有林を保有し、生物多様性の宝庫である森林と直接的に関わっているなど、それを保全していく責任や意義が極めて大きい企業だと認識しています。

こうしたことから、今回、日本でCOP10が開催されるにあたり、当社が積極的な取り組みを行うことで、地球環境問題の中でも温暖化に次ぐ重要な課題と言われながらも、いまだ認知度が低い生物多様性に関して、一般的な関心を高めていく一助となるものと考えています。

■「生物多様性交流フェア」について

本フェアは、名古屋国際会議場（COP10会場）に隣接する白鳥地区を舞台に開催される、生物多様性をテーマとした国際的な発表・交流展示会です。国内外の政府や自治体、国際機関、NGO/NPO、学術、企業などの出展者が、生物多様性に関するプロジェクトやコンセプト、課題やアイデアを持ち寄り、ブース展示などで発表することで広く情報を発信します。また、出展者は、相互交流を通じて様々な取り組みの成果や課題にふれ、将来にわたって行動・活動を継続していくための大きなヒントやきっかけを得る機会となります。さらに、あいち・なごやの県民/市民が会場で体験する様々な活動や取り組みは、この地域の生物多様性の保全に向けた大きな力へとつながっていきます。

[参考資料へ](#)

以上

《お問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 大屋・佐藤

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272